

東日本大震災後の企業戦略の方向性に関する一考察 —サプライチェーンの強化と空洞化リスクへの対応—

山田 大介
牛窪 恭彦 CMA
中村 朋生

目 次

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. はじめに | 4. サプライチェーンの強化と空洞化リスク |
| 2. サプライチェーンの脆弱性 | 5. 終わりに |
| 3. 主要産業におけるサプライチェーン強化の戦略の方向性 | |

東日本大震災後、日本企業は驚くべき底力を発揮し、生産活動は予想を上回るテンポで回復している。もっとも、ひとたび生産能力の回復を見た後、各企業はサプライチェーンの強化に取り組んでいくとみられる。個々の企業にとって最適行動となる生産拠点の海外分散化は、マクロ的にみれば空洞化リスクを加速させかねない。「なし崩し的な」生産拠点の海外移転を回避するためにも、日本産業の競争力をそいでいる要因を早期に解消すると共に、空洞化による国内雇用の減少を埋めるべく、新たな産業の育成・振興を図っていくことが求められる。

1. はじめに

戦後の日本を振り返ると、経済に大きな構造変化をもたらした決定的な事象が幾つかあった。例

えば、外国為替相場が変動相場制に移行する契機となったニクソンショック、高度成長時代の終えんを告げたオイルショック、本格的な円高時代の幕開けとなったプラザ合意、そして「失われた

山田 大介（やまだ だいすけ）

株式会社みずほコーポレート銀行 執行役員産業調査部長。1984年東京大学経済学部卒業。同年日本興業銀行入行。同行ニューヨーク支店、業務部、みずほコーポレート銀行業務管理部次長、企画グループ統括役員付コーポレートオフィサー、産業調査部次長、産業調査部部長を経て、2011年4月より現職。

牛窪 恭彦（うしくぼ やすひこ）

株式会社みずほコーポレート銀行 産業調査部総括・海外チーム次長。1989年一橋大学経済学部卒業。同年日本興業銀行入行。同行調査部、米州部、DIAMアセットマネジメント出向、みずほコーポレート銀行証券部次長を経て、2011年4月より現職。

中村 朋生（なかむら ともし）

株式会社みずほコーポレート銀行 産業調査部総括・海外チーム。2007年立教大学経済学部卒業。同年みずほコーポレート銀行入行。同行営業第一部等を経て、2011年4月より現職。